はなまる配信

【学校教育目標】　「学びのえがお」いっぱい　西唐津小

きんぼし

唐津市立西唐津小学校
学校だより　第　106　号
令和8年11月　2日(月)
文責　校長　　古川　雅

学校 HP

11月のスタートです!!今年もあと2か月

今日から１１月の学校生活がスタートしました。この時期は気候も良く、学校や学年などで様々な行事が行われるとともに、学校外でも様々な催し物が行われる時期でもあります。実りの秋となるよう、様々なことに挑戦したり、参加をしたりして学びを深めてほしいと思います。

１１月は何といっても「バス旅行」「修学旅行」が控えています。どちらも、子どもたちの大きな学びとなる行事です。目的地に行って「楽しかった」で終わるのではなく、前後もしっかりと学びを進めます。

金曜日の子どもたちの様子から



５年２組は家庭科の学習、ミシンを使っての授業でした。

ほとんどの子どもたちにとって、初めて触るミシンです。まずは糸などを通さず、試運転でちょっと触っていました。子どもたちは興味津々、戦々恐々、交代でミシンを動かしていました。ちなみに、家庭科室ではなくコンセントがたくさんあるパソコン室で行っています。





今日から子どもたちが楽しみにしている「唐津くんち」が始まります。木曜日に全校朝会で全体に、金曜日に曳子たちを集めて個別に指導をしています。しかし、唐津神社周辺は人も多く、誘惑や危険がいっぱいです。出かける際には、交通指導も含めて子どもたちに一声かけていただくようお願いいたします。





３年１組は総合の学習、「みそについて調べよう」の授業でした。
親子レクで「みそ作り」を行う前の事前学習として、みそに含まれている栄養、そしてその栄養が体にどんな風によいのかなど、調べたことを発表していました。
体験活動は、このように、事前や事後の学習をしっかりと行うことが大切です。









１年２組は先日の「はたらくくるま」の学習からのつながりで、「はたらくふね」の絵を描いていました。「はたらくふね」は、国語の教科書で学んでいきます。
子どもたちは、教科書や図鑑などを参考にしながら、フェリーやタンカーなど自分が気に入った船を画用紙に描いていました。